

平成27年度
生光学園中学校
「いじめ防止基本方針」



[2015年10月1日]



《目次》

第1部 いじめ防止に関する基本的な方針

- 1 <基本理念>
- 2 <いじめの禁止>
- 3 <学校及び職員の責務>

第2部 いじめ防止のための基本施策と措置

- 1 <基本施策>
 - ①学校におけるいじめの防止
 - ②早期発見のための措置
 - ③教職員の資質向上
 - ④ネット上のいじめの対策
- 2 <防止措置>
 - ①組織的対応
 - ②いじめに対する措置
- 3 <重大事案への対処>
- 4 <留意事項>

第1部 いじめ防止に関する基本的な方針

<基本理念>

いじめは、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせる恐れがある。したがって、本校では、すべての生徒がいじめを行わず、及び他の生徒に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することが無い様に、いじめが心身に及ぼす影響、その他のいじめの問題に関する生徒の理解を深めることを旨として、いじめ防止のための対策を行う。

<いじめの禁止>

生徒は、いじめを行ってはならない。

<学校及び職員の責務>

いじめが行われず、すべての生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができる様に、保護者等関係者との連携を図りながら、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組む。またいじめが疑われる場合は、適切かつ迅速にこれに対処し、さらにその再発防止に努める。

第2部 いじめ防止のための基本施策と処置

<基本施策>

① 学校におけるいじめの防止

- ・生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う対人交流能力の素地を養うため、全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実を図る。
- ・保護者並びに地域住民その他の関係者との連携を図りつつ、いじめ防止に資する生徒が自主的に行う活動に対する支援を行う。
- ・いじめ防止の重要性に関する理解を深めるための啓発その他必要な措置として、道徳及び学級活動の時間等を利用し、「いじめ防止キャンペーン」を実施する。

② いじめの早期発見のための措置

- ・いじめを早期に発見するため、在籍する生徒に対する定期的な調査を実施するとともに、意見箱の設置等のその他の必要な措置を講ずる。
- ・いじめ調査実施後、担任との面談を実施する。
- ・生徒及び保護者がいじめに係る相談を行うことができるよう相談体制の整備を行う。

③ いじめ防止等のための教職員の資質の向上

- ・いじめの防止等のための対策に関する研修を年間計画に位置づけて実施し、いじめの防止等に関する職員の資質向上を図る。

④ ネットを通じて行われるいじめに対する対策

- ・生徒及び保護者が、発信された情報の流通性、発信者の匿名性、その他のネットを通じて送信される情報の特性を踏まえて、ネットを通じて行われるいじめを防止し、及び効果的に対処できる様に必要な啓発活動として、外部講師を招き情報マナー講習会を行う。

<いじめ防止に関する措置>

① 学校におけるいじめの防止等の対策のための組織の設置

- ・いじめの防止等を実効的に行うため、以下の機能を担う「不登校・長欠・いじめ等対策委員会」を設置する。

<構成員> 校長、副校長、教頭、生徒指導担当、学年主任、養護教諭

<活動> アンケート調査並びに教育相談に関すること。いじめが心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する生徒の理解を深めること。いじめ事案に対する対応に関すること。

<開催> 学期1回を定例会とし、いじめ事案発生時は緊急開催とする。

② いじめに対する措置

- ・いじめに係る相談を受けた場合は、すみやかに事実の有無の確認を行う。
- ・いじめの事実が確認された場合は、いじめをやめさせ、再発防止のため、いじめを受けた生徒に対する支援と、いじめを行った生徒への指導とその保護者への助言を継続的に行う。
- ・いじめを受けた生徒が安心して教育を受けられるための必要があると認められるときは、保護者と連携を図りながら、一定期間、別室等において学習を行わせる措置を講ずる。
- ・いじめの関係者間における争いを生じさせないよう、いじめの事案に係る情報を関係保護者と共有するための必要な措置を講ずる。
- ・犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、監督官庁及び所轄警察署等と連携して対処する。

<重大事案への対処>

生命・心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや、相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合は、以下の対処を行う。

- ① 重大事態が発生した旨を、監督官庁(県経営戦略部総務課)に速やかに報告する。
- ② 監督官庁と協議の上、当該事案に対処する組織を設置する。
- ③ 上記組織を中心として、事実関係を明確にするための調査を実施する。
- ④ 調査結果を、いじめを受けた生徒・保護者に対し、事実関係その他の必要な情報を適切に提供する。

<学校評価における留意事項>

いじめを隠蔽せず、いじめの実態把握及びいじめに対する措置を適切に行うため、次の2点を学校評価の項目に加え、適正に自校の取組を評価する。

- ・いじめの早期発見に関する取組に関すること。
- ・いじめの再発を防止するための取組に関すること。

【関係諸機関】

- ・徳島県経営戦略部総務課〔監督官庁〕 : 088-621-2027
 - ・徳島県北警察署 生活安全課 : 088-698-0110
 - ・徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課 : 088-672-5200
 - ・徳島県警察本部少年サポートセンター(ヤングテレホン) : 088-625-8900
- 【学校法人 生光学園 生光学園中学校 徳島市応神町中原38 : 088-641-1032